秋から冬にしておく
さといも疫病対策

平成26年産及び平成27年産のさといもで、疫病による大きな被害が発生しています。

来年の作で疫病の被害を出さないためには、秋から冬にかけて対策をしておく必要があります。

くずイモや発病残さを破壊し、来年の伝染源にならないように、処分してしまいましょう。

写真　被害が大きいさといも畑。
葉が全て失われた畑もある。

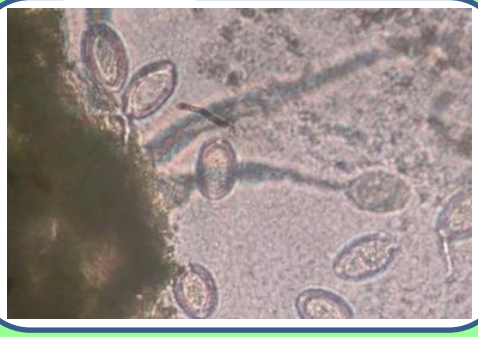

写真　葉の病斑の白い部分には大量の胞子が発生している。

強い雨の跳ね返りや、強い風で菌が広がり、被害が拡大します。

まず最初に、発生源を無くす対策が必要です。

今年の発病残さが残っていると、そこから疫病が発生します。
くずイモや残さは、適切に処分しましょう。

平成27年11月
宮崎県
（一社）宮崎県植物防疫協会

伝染源は必ず除去
くずイモや残さを放置しない

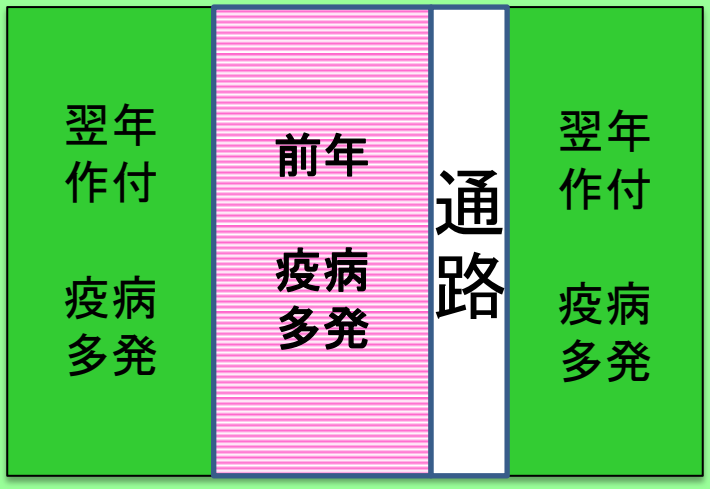

図　前年多発畑に隣接した畑で発生が多い。
通路を挟むくらいでは防げない。

さといもは基本的に同一畑で連作しませんが、近隣に残る前年の残さが疫病の発生源となります。

観察された事例として、前年に疫病が多発したほ場や、残さを放置した場所の近くでは、翌年も疫病の発生が早くなります！

残さが翌年の発生源になるため、秋から冬にロータリーで耕耘して、破壊・分解させる対策を行う必要があります。

くずイモを放置しない

出荷できない「くずイモ」を放置すると、そこから発生する葉にも疫病は感染します。
発生した葉や茎の残さが、翌年の発生源になるので、このようなイモはロータリーで破壊し、春までに分解させましょう。

「くずイモ」などの残さも、土に埋めて、春までに分解させて、芽が出てこないようにしましょう。

写真　放置された「くずイモ」から出た葉
ここから疫病が発生してくる。

発病残さを放置しない

写真　放置された発病残さ
これも疫病の主要な発生源となる。

今年の発病が激しい畑や、葉が霜で枯れてから収穫するような品種の畑では、疫病菌が大量に付着した葉や茎が残っています。
放っておいてはいけません！

ロータリーで残さを破砕
残さが地上に露出しないよう土壌混和

さといもの疫病菌は、土壌中に長く残る形態もありますが、菌だけの状態であれば、土中で5日間程度しか生きていけません。
残さやくずイモを分解させ、イモに付いて生き延びている菌の密度を下げる必要があります。
残さを分解する微生物を供給するために、堆肥と一緒に土壌混和することが、より望ましい。

丁寧にロータリーで耕耘し、残さを破砕する。

① ロータリーで耕耘し、残さを破砕して、土壌中の微生物に触れる面積を増やします。

② このとき、堆肥（通常の施肥量）と一緒に土壌混和することで、残さの分解は早くなります。

わずかに残さが残るので、数回は耕耘する。

次年度に芽がでるようなイモが残らないように残さを破砕。繰り返しロータリーをかける。

こういう残さの放置は、来年の疫病発生源。

収穫・調整作業で出てくる残さは、畑の付近には放置しないこと。

可能な限り、さといもを作付けする予定の畑から遠い場所に穴を掘り、埋却しましょう。

当病害に限らず、農作物の病害虫に関するお問い合わせは，
最寄りの農業改良普及センターもしくは病害虫防除・肥料検査センターへ

中部農林振興局農業経営課（中部農業改良普及センター）
〒880-1111　国富町大字岩知野1401
TEL：0985-30-6121　FAX：0985-30-6130　E-mail：chubu-nokai@pref.miyazaki.lg.jp

南那珂農林振興局農業経営課（南那珂農業改良普及センター）
〒889-3202　日南市南郷町中村甲1232番地1
TEL：0987-21-9550　FAX：0987-64-3964　E-mail：minaminaka-nokai@pfef.miyazaki.lg.jp

北諸県農林振興局農業経営課（北諸県農業改良普及センター）
〒885-0003　都城市高木町6464
TEL：0986-38-1554　FAX：0986-38-1610　E-mail：kitamoro-nokai@pref.miyazaki.lg.jp

西諸県農林振興局農業経営課（西諸県農業改良普及センター）
〒886-0009　小林市駅南300
TEL：0984-23-5105　FAX：0984-22-7355　E-mail：nishimoro-nokai@pref.miyazaki.lg.jp

児湯農林振興局農業経営課（児湯農業改良普及センター）
〒881-0023　西都市大字調殿字馬場崎812
TEL：0983-43-2311　FAX：0983-43-2313　E-mail：koyu-nokai@pref.miyazaki.lg.jp

東臼杵農林振興局農業経営課（東臼杵南部農業改良普及センター）
〒883-0106　日向市東郷町山陰辛256-2
TEL：0982-68-3100　FAX：0982-68-3101　E-mail：nambu-nokai@pref.miyazaki.lg.jp

東臼杵農林振興局農業普及課（東臼杵北部農業改良普及センター）
〒882-0854　延岡市長浜町1-1713
TEL：0982-32-3216　FAX：0982-32-3234　E-mail：hokubu-nokai@pref.miyazaki.lg.jp

西臼杵支庁農業普及課（西臼杵農業改良普及センター）
〒882-1101　西臼杵郡高千穂町大字三田井3364-39
TEL：0982-72-2158　FAX：0982-72-2159　E-mail：nishiusuki-nogyofukyu@pref.miyazaki.lg.jp

総合農業試験場病害虫防除・肥料検査課（病害虫防除・肥料検査センター）
〒880-0212　宮崎市佐土原町下那珂5805
TEL：0985-73-6670　FAX：0985-73-2127　E-mail：miyabou@blue.ocn.ne.jp

監修：宮崎県農政水産部営農支援課
作成：（一社）宮崎県植物防疫協会
〒880-8501宮崎市橘通東2-10-1宮崎県庁1号館営農支援課内
TEL：0985-26-7132　FAX：0985-26-7325